

日本医史学雑誌 第60巻 第2号

目 次

第115回 日本医史学会総会・学術大会 演題目次

プログラム

会長講演

- 近世日本の医学・医療と異文化交流…………… ヴォルフガング・ミヒェル 117

特別講演

- I 軍医たちの無念…………… 帚木 蓬生 122

II 医学教育における課題と展望

- 医学教育学における医史学との接点とその重要性——…………… 吉田 素文 123

市民公開講座

予防接種の日本の始まりは「福岡の秋月」にあり

- 秋月藩医・緒方春朔の人痘種痘法から——…………… 富田 英壽, 木村専太郎 124

一般演題

- 1 近代以前ヨーロッパにおける医学実地書の系譜…………… 坂井 建雄 126

2 マイルドメイ夫人の医学的貢献

- 16世紀・17世紀イギリスの家庭の医学——…………… 遠藤 花子 127

3 ニコラウス・ステノによる脳の解剖学講義

- 17世紀の解剖学への批判と提言——…………… 安西なつめ 128

- 4 幕末の徳山藩医・四熊宗庵の医療活動について…………… 中澤 淳, 亀田 一邦 129

- 5 エヴェリーナ・ロンドン小児病院の設立について…………… 柳澤 波香 130

- 6 英国の輸血機構と血液型群の研究について…………… 香戸美智子 131

- 7 設立趣意書から見た近世藩立医育施設の理念…………… 鈴木 友和 132

- 8 海上随鷗（1758～1811 稲村三伯）の医書について…………… 町 泉寿郎 133

- 9 華岡青洲の一番弟子・鎌田玄台の容貌について…………… 土手健太郎, 長櫓 巧 134

- 10 箴言「獅膽鷹目女手」の日本への伝播とその漢訳者…………… 松木 明知 135

11 日本の近代科学技術の先駆者ファン・デン・ブルックの

- 耳科学と物理学の業績…………… 山下 龍, 相川 忠臣 136

12 ライシャワ大使刺傷事件と精神科医療

- 戦後精神科医療史覚え書き（その2）——…………… 岡田 靖雄 137

- 13 戦後の医療政策で見られた「合成の誤謬」…………… 福永 肇, 山内 一信 138

14 WHOによる健康の定義の歴史

- 東アジアの言語と政治——…………… 津谷喜一郎 139

15 荻野吟子の医術開業免状下付願

- 東京都公文書館蔵「明治十八年回議録」より——…………… 樋口 輝雄 140

- 16 神経鞘腫における切除法の変遷…………… 大幸 俊三, 早川 智 141

17	九州帝國大學醫學部附属醫院出土の病院食器に関する考古学的考察	田尻 義了	142
18	日本医学専門学校の学生騒動の端緒となった瀧澤竹太郎と磯部検三 との闘争.....	殿崎 正明, 唐沢 信安, 志村 俊郎, 山本 鼎	143
19	Alexander Madison Vedder の生涯について	布施田哲也	144
20	統治下朝鮮における日本人医学者の肺ジストマへの取り組み.....	大西 雄二	145
21	台湾の病理学史の発展回顧.....	容 世明	146
22	台湾総督府による中国華南地域への医療支援.....	末永 恵子	147
23	中国医学「近代化」の試み： 蘇州国医医院（1939–1941年）の事例を基に	大道寺慶子	148
24	『太素』の日本伝来と阿倍仲麻呂・吉備真備の関与	真柳 誠	149
25	孔穴に関する引用による『医心方』と『外台秘要方』の比較.....	島山奈緒子	150
26	小坂元祐の経穴学.....	加畑 聡子	151
27	多紀元堅手校『鼎彫銅人腧穴鍼灸図経』について.....	宮川 隆弘	152
28	「渴」について	渡部 栄輝	153
29	『杉山真伝流』における穴性概念の萌芽について	浦山 久嗣	154
30	中国佚書『医学全書』と日本古医籍による引用文.....	郭 秀梅	155
31	杉山流按摩術の流儀書『杉山真伝流按摩舞手』および大澤周益の 残した書籍類について.....	大浦 宏勝, 長野 仁, 市川 友理	156
32	『鍼灸拔萃大成』の基礎理論について	斉藤 宗則	157
33	『古今医統大全』の鍼灸について（第4報）.....	田中利江子	158
34	尾池恭庵・薫陵の事蹟と著述について ——讃岐に伝承された後藤流古医方——.....	長野 仁	159
35	『医家要語集』察脈要語について	中川 俊之	160
36	国立市谷保・本田家の馬医資料と医薬資料について.....	岩間真知子	161
37	桃山時代の家庭医学：本願寺西御方（1562–1616）を例にして	アンドリュウ・ゴープル	162
38	研医会図書館所蔵の森立之著『温疫論割記』	安部 郁子	163
39	香月牛山の処方に関する研究.....	星野 卓之, 小曾戸 洋, 花輪 壽彦	164
40	点眼容器の発展経過について.....	園田 真也	165
41	薬用植物の基原の再考——牡丹・芍薬を例として——.....	久保 輝幸	166
42	温経湯の命名と原義に関する考察.....	荘 明仁, 平崎 能郎	167
43	明治前期日本における薬用人参の輸出について.....	童 徳琴	168
44	村井琴山と亀井南冥の事蹟と墓所.....	黒川 達郎	169
45	日本新薬（株）所蔵神農像厨子扉絵に描かれている人物について	周防 一平, 小曾戸 洋	170
46	いわゆる『儒醫』についての考察——III 土葬（埋葬）.....	田中 祐尾	171
47	歌川派絵師の描いた外眼部の特徴について.....	田中 孝男, 高橋 雅夫	172

48	「吾園叢書」の「女医開業許否之議」および 「中央衛生会臨時会」について	三崎 裕子	173
49	福沢諭吉の脳卒中発作における病床日誌と手習い反古	志村 俊郎, 都倉 武之	174
50	東京府病院（明治7年～14年）における医師の月給	稲松 孝思, 松下 正明	175
51	心臓刺激伝導系の発見への道程.....	島田 達生, 須磨 幸蔵	176
52	刺激伝導系（das Reizleitungssystem）の田原淳による邦名は 『刺撃傳導筋系統』であった	須磨 幸蔵, 島田 達生, 島田 宗洋	177
53	大阪医蹟めぐりガイド（大阪市内版）の作成（第2報）	竹中 裕昭	178
54	九州大学医学部における史料研究——1997年調査——	丸山マサ美, Wolfgang Michel, 吉田 眞一, 小宗 静男	179
55	医史学教育の可能性 ——順天堂大学医学部医史学研究室 M3 セミナールでの実践——	月澤美代子	180
56	欧米諸国の看護婦の紹介記録の歴史を辿る（その2） ——「福田作太郎筆記」を中心に——	鈴木 紀子	181
57	占領期日本の衛生教育に関する考察 ——「公衆衛生列車」の概要について（3）——	田中 誠二, 杉田 聡, 丸井 英二	182
58	地域健康指標としての乳児・新生児死亡の精度 ——戦前・占領期・復帰後の沖縄の分析例——.....	逢見 憲一	183
59	精神予防性無痛分娩法による自学自習妊婦教育用教材『痛くないお産』	藤原 聡子, 月澤美代子	184
60	占領期の公衆衛生 ——W.エドワーズ・デミングのSQC戦略と結核死亡率の低下——	佐藤 晶子	185
61	占領期の日本脳炎対策についてのGHQ/SCAP/PHW文書を 用いた考察.....	杉田 聡, 田中 誠二, 丸井 英二	186
62	占領期の特設旧制高校, 東洋高等学校（理科乙類）その3（終）	永藤 欣久	187
63	竹内茂代と日本優生結婚普及会.....	佐藤ゆかり	188
64	医業類似行為について.....	清野 充典	189
65	富士川游の宗教活動 ——正信協会における事業を中心に——.....	土屋 久	190
66	明治・大正期における家政書での入浴の記述について.....	川端 美季	191
67	衛生博覧会の電飾展示装置「工場化せる人体模型」とその系譜 ——拡散するフリッツ カーン——	竹原 直道	192

68	戦前における民間精神病者収容所について……………	橋本 明	193
69	原南陽の医療とその立脚点 ……………	松岡 尚則, 別府 正志, 田中耕一郎, 山口 秀敏, 頼 建守 中田 英之, 安部 郁子, 並木 隆雄, 秋葉 哲生, 牧角 和宏	194
70	『医家千字文註』の構成と引用……………	浦山 きか	195
71	国立国会図書館所蔵の『柳洪文彙』について……………	竹内 尚	196
72	『新刊針灸指南』について……………	寺川 華奈	197
73	江戸時代末の産科の記録：中島友玄の「回生鈎胞(代)臆」を読む ……………	板野 俊文, 中島 洋一	198
74	養生書『延寿撮要』(曲直瀬玄朔)と『養生訓』(貝原益軒)の 関連性について……………	葉山美知子	199
75	『葛氏方』輯佚と葛洪の医方の伝承について……………	多田 伊織	200
76	中国国家図書館蔵の『龍樹菩薩眼論』抄本と 馮水校訂『龍樹菩薩眼論』について……………	永塚 憲治	201
77	国立国会図書館所蔵『新刊黄帝明堂灸経』の書入れについて ……………	天野 陽介, 館野 正美, 小曾戸 洋, 花輪 壽彦	202
78	安政版『素問』の刊行意図……………	吉岡 広記	203
79	『医方類聚』所収の『急救仙方』について……………	上田 善信	204
80	道教と中国伝統医学(第34回 道教医学へのアプローチ)……………	吉元 昭治	205
81	労働科学研究所所蔵「温知堂文庫」資料について……………	清水 信子	206
82	ベトナム南北分断期(1954~75年)南北ベトナムにおける 伝統医学の制度化……………	小田 なら	207
83	『内経抜書』と『内経病機撮要弁証』における修辞法……………	吉川 澄美	208
84	秦封泥の泰医丞について……………	猪飼 祥夫	209
85	『御製本草品彙精要』編纂の終幕 ——太医院医官に対する弾劾訴追との関わりを中心に——……………	土屋 悠子	210
86	「孫子」等の兵法理論が、漢方医学に与えた影響……………	権藤 寿昭	211
87	日本近代医学の魁オットー・モーニッケの多彩な業績……………	相川 忠臣	212
88	種痘医 大野松斎の事績……………	鈴木 達彦, 荻原 通弘	213
89	日本の予防接種法前史としてのワクチン・血清療法史……………	渡部 幹夫	214
90	江戸に伝わった八丈島の疱瘡に関する情報 ——その入手経緯と背景——……………	對馬 秀子, 酒井 シヅ	215
91	緒方春朔にみる伝染概念の考察……………	西巻 明彦	216
92	日本における人痘接種の意義……………	酒井 シヅ	217
93	冠名の淵源となったランゲルハンスの二大主要論文の 背景を読み解く……………	佐藤 裕	218
94	新しく発見された坪井信道から緒方洪庵への書簡……………	高橋 伸明	219

95	本邦において正統の整形外科学を確立した 神中正一（1890-1953）（その二）……………	小林 晶	220
96	Ibn Nafis の脈拍論と肺末梢循環の論理 ……	藤倉 一郎	221
97	『甲乙経』に見える小児科鍼灸条文……………	川端かおり	222
98	刊本『鍼灸五蘊抄』について ……	岩田源太郎	223
99	足利学校における『素問』の講義をめぐって —— 周曰校校刊本—— ……	野澤 隆幸, 小曾戸 洋	224
100	『幼々新書』 宋版巻 38 零本（内閣文庫）は金沢文庫本ではない ……………	小曾戸 洋	225
101	『五行大義』に見える医経の引用について……………	橋本 典子	226
102	西鶴作品にみる身体に関する語（二）……………	計良 吉則	227
103	『千金方』におけるいわゆる「経外奇穴」について……………	橋本 史代	228
104	近世の医家が病家へ向けて著した教訓書『病家教訓草』（1781） ……………	平尾真智子	229
105	国際ロータリー元会長・精神科医 向笠廣次について……………	川寫 真人	230
106	江戸期刊行の出版書籍目録における鍼灸書について ……	木場由衣登	231
107	『幼々新書』引用医籍の検討……………	堀田 広満, 小曾戸 洋, 花輪 壽彦	232
108	小石川養生所初期の医療活動について ……	山口 静子	233
	投稿規定……………		240
	編集後記……………		242